

会 議 記 録 簿

件 名	恵庭市社会教育委員の会議（令和２年度第２回）		
日 時	令和２年１１月２５日（水）１０：４０～１１：４０	会 場	市民会館中会議室
出席者	【協議会委員】 松田委員 太田委員 三科委員 塩野委員 井上委員 加藤委員 向井委員 【教育委員会】 教育長、大嶋次長 社会教育課：渡部課長 桑原主査 吉川主査 佐々木主査 村本主査 中村主任主事 読書推進課：黒氏課長 郷土資料館：原田館長	人 数	委員 ７名 市教委 ８名
概		要	
１．開会			
２．挨拶 恵庭市社会教育委員の会議 委員長 松田一則 恵庭市教育委員会 教育長 穂積邦彦			
３．議題 【報告事項】 （１）「令和元年度恵庭市社会教育施設利用状況」について （２）「令和元年度社会教育事業報告（通年）」について （３）「令和２年度恵庭市の社会教育」について （事務局） （１）～（３）について、開けた教育行政及び社会教育事業の積極的なPRを視野に入れ、 １２月教育委員会及び第４回定例会を経た後、今年度よりHPにて公表する予定。 （４）「令和２年度社会教育事業報告（上半期）」について （事務局） ・社会教育課所管分について説明 （読書推進課） ・読書推進課所管分について説明 （郷土資料館） ・郷土資料館所管分について説明 （Ａ委員） ・学びカフェ、道家庭教育ネットワーク化事業について周知 （５）「第５期生涯学習基本計画」の策定について （事務局） ・第５期生涯学習基本計画の策定状況について説明 【協議事項】 （１）令和３年度社会教育関係事業について （Ｂ委員） 令和３年度事業計画について、令和元年度や令和２年度事業を踏襲したものとするのではなく、事業のスクラップアンドビルドについても検討したものとすべき。			

(事務局)

予算時には前年度規模の確保を目指していくが、計画時には一定の役割を果たしているものについては見直し新しい事業を検討するなど、精査を進めていきたい。

(A委員)

コロナ禍にも関わらず、図書館事業が停滞しなかったことを高く評価したい。
また、郷土資料館について、コロナ禍により多くの事業が中止となってしまったのは残念だが、ポケモンとのコラボ事業などの新しい展開があり、子供たちも興味をもっていた。

(C委員)

事業が範囲によりどの程度実施できるのかについて、交通整理が必要。また、不特定多数となる場合はオンライン等の手法を検討すべきだが、地区単位での活動など特定多数でありかつリスク管理が可能であるのならば、リスクを最低限とした上で実施の検討をしてもよいものとする。

4. その他

(事務局)

生涯学習施設かしわのもりについて、令和4年度から指定管理制度導入を検討している。尚、今年9月に社会教育課職員が先進地である苫小牧市を視察し、運営協議会において説明した。今のところ、運営協議会から反対の声は上がっていない。

第3回社会教育委員の会議：令和3年3月予定

(読書推進課)

図書館システムの更新により、来年2月1週間程度休館する予定。

また、恵庭分館について、手のひら認証とIC化システムの導入を予定している。これにより、来年2月1か月程度の休館を予定している。

5. 閉会

会議の様子

